

## APRU マルチハザード リサーチシンポジウムを開催しました (2018/10/22-23)

テーマ：APRU、マルチハザード、大学連携  
 場所：オーストラリア国立大学（オーストラリア・キャンベラ）

2018年10月22-23日に、オーストラリア国立大学にてAPRU（環太平洋大学協会）マルチハザード リサーチシンポジウムが開催されました。当研究所からは、地域・都市再生研究部門の村尾修 教授および泉貴子 准教授が出席し、発表・討議を行いました。APRU 加盟大学から150名を超える出席者があり、2日間にわたり8つのセッションで様々な議論がなされました。

村尾修 教授は、開会式にて登壇し当研究所と東日本大震災の経験について講演するとともに、「政策と減災ガバナンス」に関するセッションにて、「Tsunami Mitigation Strategies in the Coastal Areas Affected by the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami」と題して、研究成果を発表しました。泉貴子 准教授は、APRU 特別パネルセッション「防災における科学、技術、イノベーション」にて議長を務めると同時に、「科学技術導入の課題」について発表しました。

当研究所は2013年より、APRU マルチハザードプログラムの事務局の役割を担っており、シンポジウム開催中に、APRU 事務局からの参加者や様々な加盟大学の研究者と、今後のマルチハザードプログラム活動や連携について協議しました。今後は、マルチハザードプログラムとその他のAPRU プログラム（高齢化問題、人工知能、持続可能な都市など）との連携も視野に入れて、プログラム活動の充実を予定しています。

2019年のシンポジウムは、メキシコのモンテレイ工科大学にて開催される予定です。



村尾教授



泉准教授

文責：泉貴子、村尾修（地域・都市再生研究部門）